



2014.4.2 No.14

九州産業大学 国際交流センター報「ジャンクション」

JUNCTION



CONTENTS

国際交流センター紹介	2
九州産業大学派遣留学案内	3
派遣留学生紹介	4
派遣留学生体験記	5
交換留学生紹介(受入れ)	6
交換留学生体験記(受入れ)	7
留学生会から新入生のみなさんへ	8
留学生の四季	9
日本語弁論大会	10
日本文化研修	11
平成25年度国際交流の歩み	12





国際交流センター紹介 Information from KSU Center for International Affairs

国際交流センターには、様々な情報がいっぱい

国際交流センターからのお知らせは、中央掲示板と国際交流センター懇話室内の掲示板に掲示しています。

国際交流行事や留学生との交流行事、派遣留学関係など、様々な情報を掲示していますので、定期的にチェックしてみてください。

また、外国人留学生を対象に履歴書やエントリーシートの書き方、面接試験の受け方などの就職活動に必要な本を貸し出していますので、一度借りてみてはいかがでしょうか。



国際交流センター内掲示板



中央掲示板

留学を目指している方、必見！

国際交流センターには、留学に関する雑誌をたくさん置いています。雑誌の閲覧は全て自由ですので、気軽に立ち寄ってみてください。

また、随時留学に関する相談も受け付けていますので、気軽に声をかけてください。

国際交流センターには、留学生が毎日来ており、留学生と話す機会を容易に持つことができます。派遣留学や私費留学に興味がある方は、ぜひ国際交流センターにお立ち寄りください。

担当者が、懇切かつ丁寧に留学のアドバイスをいたします。



留学関係情報誌



外国人留学生と異文化交流してみたいはかが？

九州産業大学には、500人を超える留学生が在籍しています。

留学生の内訳は、14カ国・地域から中国、韓国、台湾、マレーシア、ネパール、バングラデシュ、ブラジル、ベトナム、イギリス、アメリカ、タイ、ミャンマー、インド、モンゴルなどから留学生が来ています。国際交流や語学に興味のある方は、留学生と異文化交流してみたいはかがですか。(平成25年12月現在)



チューター懇談会にて



国際交流センターでの交流

展示ケースには、海外のお土産や、記念品がいっぱい

国際交流センターの展示ケースには、中国や韓国をはじめ、イギリスやフランスなどの協定校からのお土産や記念品が沢山飾ってあります。展示物の中には、中国の茶器や韓国の仮面劇のお面、民族衣装、文房具、遊具など珍しい品々が取り揃っており、他国の伝統、芸術、文化等を楽しむことができます。



海外からの記念品の品々



留学生チューター制度“TOP”～日本人学生の皆さん、留学生と交流してみませんか？～

平成25年度より留学生チューター制度“TOP”が始まりました。

この制度は、日本人学生が、留学生に日本語や生活上のサポートを行うものです。チューター制度を始め、留学生スポーツ大会やバーベキューパーティーなどの留学生イベントを通して留学生と日本人学生の交流が盛んに行われています。留学生にとって役立つのももちろんのこと、日本人学生にとっても、異文化をより深く理解できたり、語学力を伸ばすことができたりと、たくさんのメリットがあります。平成26年度からは、大学の留学生会などと連携し、より活発に活動していきたいと考えています。詳しくは国際交流センターまでお問い合わせください。



海の中道海浜公園でのバーベキューパーティー

留学生チューター制度を経験して

なかむら みさと
国際文化学部国際文化学科1年 中村 美郷さん
出身高校:新宮高校



チューター活動を通して留学生、日本人問わず、とにかく多くの友人ができました。

イベントや交流会等を通して、様々なバックグラウンドを持った人々の話を聞くことができ、それが自分にとって良い刺激になったと思います。またお互いに言葉を教え合ったりと、留学生の友人がいると勉強面でも助かることがあります。自分が留学生を助けるだけでなく、留学生から自分が助けられることもあり、チューター制度は日本人学生と留学生の双方にメリットがある素晴らしい制度だと思います。友人を作りたい人、国際交流に興味がある人はぜひチューターに登録することをお勧めします！

国際交流センターホームページの紹介

国際交流センターには、国際交流行事や留学生会行事、派遣留学に関する情報などをホームページで紹介しています。内容は、随時更新していますので、活用してください。

<http://www.kyusan-u.ac.jp/J/international/>





九州産業大学派遣留学案内 Guide of Studying Abroad

文系学部 交換留学協定校

アメリカ



アビリン・クリスチャン大学
http://www.acu.edu/

イギリス



リーズ・メトロポリタン大学
http://www.lmu.ac.uk/

イギリス



オックスフォード・ブルックス大学
http://www.brookes.ac.uk/

フランス



リール・カトリック大学
http://www.univ-catholille.fr/

韓国



東亜大学校
http://ent.donga.ac.kr/

韓国



東国大学校
http://www.dongguk.edu/

中国



中国人民大学
http://www.ruc.edu.cn/



オックスフォード・ブルックス大学
派遣留学生 池田さん(本人写真)クラスメイトと一緒に

芸術学部 交換留学協定校

ドイツ



シュトゥットガルト造形美術大学
http://www.abk-stuttgart.de/

フランス



ボルドー美術学校
http://www.bordeaux.fr/

九州産業大学では、経済学部、商学部第一部・第二部、経営学部、国際文化学部の学部生を対象とし、8月から翌年1月までの約6か月間(派遣先大学により異なります)、派遣留学生として交換留学協定校に派遣しています。

また、芸術学部の学部生を対象に芸術文化交流を目的とした交換留学制度があり、ドイツへは10月から翌年2月までの約5か月間、フランスへは隔年で9月から12月までの3か月間、学生を派遣しています。

(※交換留学協定校については平成26年4月現在)

派遣留学生になるには？

1. 留学フェア・派遣留学報告会に行こう！

国際交流センターでは、留学フェアや派遣留学報告会などを開催しています。留学した先輩の話を聞いたり、疑問点を質問したりと、留学実現へ近づく第一歩です。漠然と留学を考えている人も、気軽に参加してください。各イベントの日程などはK's Life や掲示板でお知らせします。

2. 語学力に磨きをかけよう！

派遣留学生になるには、語学試験を受けなければなりません。早め早めに学習を始めれば、必ず結果はついてきます。少しずつ、語学力アップに向けて取り組んでみましょう。

3. 派遣留学募集説明会に行こう！

派遣留学説明会では、選考試験のスケジュールや内容、奨学金、派遣先大学の最新情報などをお知らせします。興味のある人はぜひ参加してください。

4. 選考試験(書類・学業成績・語学試験・面接)

派遣先大学に応じた必要な語学試験、面接後、派遣留学生が決定されます。その年に合格できなくても、出願資格がある限り何度でもチャレンジできます。学生の間だけのこのチャンスを利用して、ぜひ派遣留学に挑戦してください。

平成27年度派遣留学選考内容等(予定)

対象学部	国	大 学	派遣人数	派遣期間	選考内容
経済学部 商学部第一部 商学部第二部 経営学部 国際文化学部	アメリカ	アビリン・クリスチャン大学	2人	平成27年8月～平成28年1月	書類選考・TOEFL ITP・面接
	イギリス	リーズ・メトロポリタン大学	2人	平成27年8月～平成28年1月	書類選考・TOEFL iBT スコア 51以上※ IELTSスコア 4.5以上・面接※
		オックスフォード・ブルックス大学	2人	平成27年8月～平成28年1月	書類選考・TOEFL iBT スコア 50以上※ IELTS スコア 4.5以上・面接※
	フランス	リール・カトリック大学	2人	平成27年8月～平成28年1月	書類選考・フランス語筆記試験・面接
	中国	中国人民大学	2人	平成27年8月～平成28年1月	書類選考・中国語筆記試験・面接
韓国		東国大学校	2人	平成27年8月～平成28年1月	書類選考・韓国語筆記試験・面接
		東亜大学校	2人	平成27年8月～平成28年2月	書類選考・韓国語筆記試験・面接
芸術学部	ドイツ	シュトゥットガルト造形美術大学	1人	平成27年10月～平成28年2月	書類選考・TOEFL ITP・面接
	フランス	ボルドー美術学校	1人	平成27年10月～平成27年12月	書類選考・TOEFL ITP・面接

※各セクションごとに必要なスコアの条件があります。詳細は国際交流センターまで。

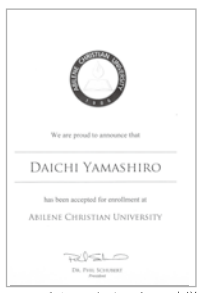


平成25年度派遣留学生紹介 KSU Exchange Students

アビリン・クリスチャン大学(アメリカ)



平成25年度派遣留学生



アビリン・クリスチャン大学
入学許可証



やましろ だいち
山城 大地
国際文化学部国際文化学科4年
派遣期間: H25.8 - H26.1
名護高校出身



わたなべ えみか
渡邊 咲香
経済学部経済学科3年
派遣期間: H25.8 - H26.1
福岡中央高校出身

中国人民大学(中国)



いのうえ かずま
井上 一真
国際文化学部国際文化学科2年
派遣期間: H25.8 - H26.1
玄界高校出身



りょうざわ ゆきえ
梁沢 幸恵
経営学部国際経営学科2年
派遣期間: H25.8 - 26.1
沖縄尚学高校出身

東亜大学校(韓国)



おおさわ ともこ
大澤 智子
国際文化学部国際文化学科3年
派遣期間: H25.8 - H26.2
育徳館高校出身



みうら まあの
三浦 真亜乃
商学部第一部観光産業学科4年
派遣期間: H25.8 - H26.2
松浦高校出身



もりべ かなな
守部 栞菜
国際文化学部国際文化学科3年
派遣期間: H25.8 - H26.3
九州産業大学付属九州高校出身



やました りな
山下 利奈
商学部第一部観光産業学科3年
派遣期間: H25.8 - H26.3
柏陵高校出身

東国大学校(韓国)

オックスフォード・ブルックス大学(イギリス)



いけだ なおみ
池田 尚美
国際文化学部国際文化学科4年
派遣期間: H25.8 - H26.1
佐賀西高校出身

シュトゥットガルト造形美術大学(ドイツ)



はやしだ りさ
林田 理沙
芸術学部デザイン学科4年
派遣期間: H25.10 - H26.2
三池高校出身

ボルドー美術学校(フランス)



まつお
松尾 あすか
芸術学部デザイン学科4年
派遣期間: H25.10 - H25.12
福岡舞鶴高校出身



「夢への架け橋」
いのうえ かずま
井上 一真
国際文化学部国際文化学科 2年
派遣留学先: 中国人民大学
現地で仲良くなった友人と(本人写真左)

私は派遣留学を通してリスニング力と語彙力が大きく進歩したと実感しました。授業は5科目あり、いずれも中国語で行われます。授業が始まる前は授業に付いていけないか不安でたまりませんでした。しかし実際に授業を受けてみると、思ったほど難しくはありませんでした。難しい表現や分からないところは先生が簡単な表現に直してきちんと説明してくれるので、中国語に対する不安はすぐなくなりました。教科は「精読」、「写作」、「口語」、「聴力」、「閱讀」の5科目から構成されていますが、どの教科をとっても単語の量がとにかく多いです。ここで実感したことは、単語は覚えるものではなく身につけるものだということです。日本では日本語訳と一致させて丸暗記していましたが、授業では先生が単語の意味や用法、例文などを、中国語を通して全部説明してくれます。

また、口語的言い回しやよく使う言葉も一緒に教えてくれます。頭でその都度単語の意味を思い出す前に中国語で理解することができました。そしてどの教科も中国語で授業を受け、クラスメイトとの交流も中国語なので必然的にリスニング力が要求されます。試験はそんなに難しくなく、授業で習った単語と構文をきちんと復習さえしていれば大丈夫です。

中国人民大学では10月に国際文化祭があり、私達は物品販売で餅を販売し、ステージ発表では「よさこい」をみんなで披露しました。私はこの「よさこい」メンバーのダンスリーダーをやりました。授業が終わった後や空き時間などを利用してダンスの振り付けを予習したり考えたりしました。さらに1ヶ月前から毎晩みんなで集まって3時間練習しました。とても忙しく大変でしたが、終わった後の達成感はずごく感動的でした。他国の多くの人たちからも「日本最高」と言ってもらい、大歓声のステージでした。

最後に私の留学経験を踏まえ、中国留学を考えている人へ2つ伝えておきたいことがあります。1つは中国でたくさんの人と知り合い人脈を広げて欲しいということです。中国の社会は人脈がとても重要です。今自分に必要な情報などが巡ってき

たりします。もしかするとその1つの情報が自分の夢につながる大切な情報かもしれません。そのためたくさんの人と交流することが大切とされています。そしてもう1つは自ら困難を作り出し、その中に自ら飛び込んでください。中国語がまだ上手にできないからといって友達に頼ってばかりではなかなか上達しません。中国人民大学のスタッフの方々とはとても親切で丁寧に教えてくれます。分からなければ辞書や筆談を用いたりして構いません。そうした1つ1つの積み重ねが上達への一番の近道となります。様々な困難に出会った時に自分で解決することができた大きな自信になります。このように色々試行錯誤を重ねてみてください。半年はあっという間に過ぎていってしまいます。悔いのないように思う存分自分のやりたいことを実現してください。



国際文化祭

注)掲載している学年は、平成25年度のものです。



派遣留学生体験記 Outbound Exchange Program



黒田節を練習する友人と
(本人写真左)

わたなべ えみか
渡邊 咲香
学部学科:経済学部経済学科3年
派遣留学先:アピリン・
クリスチャン大学

私は平成25年8月から12月までアメリカ、テキサス州にあるアピリン・クリスチャン大学に留学させていただきました。そこで多くのことを経験しました。

まず大学の授業についてですが、クラスは少人数クラスでした。最初は緊張していましたが、すぐにクラスメイトとも仲良くなり、授業も楽しくなりました。先生も優しく、授業で分からないところの質問はもちろんですが、学校生活で困ったことなどの相談もできました。授業の最終日には先生の自宅の食事に招待していただきました。

留学生活で一番の思い出は、カルチャーショーです。色々な国からの学生が参加します。私達日本グループは、このイベントで黒田節を踊ることになったので、本番までの約2ヶ月間、一生懸命練習しました。この行事を通してたくさんの友達を作ることができ、一生懸命みんなで練習したことで仲も深まりました。

カルチャーショーに参加していなければ仲良くなれなかっただろう友達もたくさんいます。また私は他の友達に誘われ、日本グループの他にインドのグループにも参加しました。2つのグループに参加したため期間中は練習する時間が多く、衣装や小道具を徹夜して作ったりして、とても大変でした。しかし振り返ってみると、きつかったことも楽しい思い出です。カルチャーショーが終わった後の達成感はとても気持ちの良いものでした。カルチャーショー以外にも大学にはスポーツ大会、ハロウィンパーティーなどの様々なイベントがあり、たくさんの学生と関わる機会があります。

文化の違いを感じたことは、思ったことをはっきりと言うところです。日本では周りの雰囲気第一に考えますが、アメリカでは思っていることをきちんと言わないと相手に伝わりません。一度友達に「思っていることをはっきり言って」と注意されたことがありました。

一番英語力が伸びたと実感したことは、電話での会話です。電話では聞き取ることが難しく、言いたいこともなかなか伝わりませんでした。留学してから1ヶ月ほど経ったころ、友達から電話がかかってきたことがあったのですが、なかなか話が伝わらず「後でメールで伝えるね」と言われました。その時は、かなり英語に慣れ、少し自信がついてきた時だったので落ち込みました。

しかし、日本へ帰国する頃に、また友達と電話する機会がありました。その時、友達の話の内容も聞き取れましたし、自分の言いたいことも伝わりました。たどたどしさはありましたが、会話ができるようになっていて、英語力が伸びたことが実感できてとても嬉しかったです。このことがきっかけで、英語の勉強に対するやる気がとても高まりました。

半年間の留学期間はあっという間でしたが、とても充実した日々を送ることができました。様々な国の人と出会い、文化や考え方の違いなど、日本では経験できない多くのことを学ぶことができました。これからは英語力をもっと伸ばしていきたいよう、今後も頑張って勉強を続けていきます。



図書館で友人と(本人写真右)

留学フェアを開催しました!

平成25年度は6月と11月に2号館1階の円形ホールで留学フェアを開催し、約400名の学生が来場しました。留学フェアでは留学相談や本学OB・OGによる講演会、派遣留学に行った学生が撮った写真の展示や、本学外国人留学生から学ぶ外国語コーナーなどが設けられました。来場した学生は留学に関する情報を得られただけでなく、同じ目標を持った仲間や、外国人留学生とも触れ合う機会が持てたようです。



留学生から学ぶ外国語コーナー



留学エージェントによる留学相談会



交換留学生による母国紹介



在福岡オーストラリア総領事館・松本氏講演会(本学OB)



資料展示コーナー



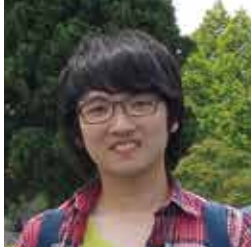
派遣留学を目指す学生のための派遣留学説明会



交換留学生紹介(受入れ) Overseas Exchange Students

平成25年度は5名の交換留学生を九州産業大学で受け入れました。

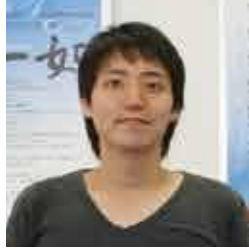
東亜大学校(韓国)



ジョ ソンヨン
趙 成庸

受入学部: 工学部
受入期間: H25.4-H25.8

東亜大学校(韓国)



ジョン ジェミン
鄭 在珉

受入学部: 商学部
受入期間: H25.4-H25.8

東国大学校(韓国)



ジャン ジョンア
張 貞雅

受入学部: 国際文化学部
受入期間: H25.4-H26.2

中国人民大学(中国)



ソウ ヘキョ
宋 璧如

受入学部: 国際文化学部
受入期間: H25.9-H26.8

オックスフォード・ブルックス大学(イギリス)



レイチェル ルイーズ ビッグネル
Rachel Louise Bignell

受入学部: 国際文化学部
受入期間: H25.9-H26.8

交換留学生が着物の着付けと茶道を体験しました!

平成26年2月、協定校から派遣されている交換留学生3名が日本文化への理解を深めるため、着物の着付けと茶道を体験しました。留学生は、各自が選んだ華やかな振袖に身を包み、茶道の作法を学びながら茶菓子とお抹茶をいただきました。皆、足の痺れを我慢しつつ、終始笑顔で日本文化を楽しんでいました。



国際文化学部交換留学生
レイチェル ルイーズ ビッグネル
Rachel Louise Bignell (イギリス)



着物に身を包み3人で決めポーズ
レイチェルさん(左)、宋さん(中央)、張さん(右)



茶道体験

着物の着付けを体験して Kimono Wearing Experience

お正月に、私は留学生の友人と一緒に着物の着付けという素晴らしい経験をしました。おそらく、その生地的美しさ、独特の着付けや着こなしの難しさがあるがゆえに、着物は日本文化の象徴となったのではないのでしょうか。

着物は日本の伝統的な民族衣装ですが、今日の日本でもなお多くの人から愛されているようです。お祭りの日や特に日本の成人式の日には、美しい着物に身を包んだ多くの若い女性を見かけることができます。そのため、国際交流センターから着物の着付け体験をしてみませんかと言われた時は、3人ともとても興味津々でした。

着付け体験の当日、教室に到着すると、私達はまず自分が気に入った色の着物を選び、それらをひとつずつスタッフの方が着せてくれました。しかし実際に着物を着てみると、ものすごく窮屈に感じました。着物にくるまれているような感覚で、必然的に背中がピンと伸び、小股でないと歩けないほどでした。一緒に参加した友人たちが着物を着ているのを見るのも楽しく、お互いたくさんの写真を撮りました。

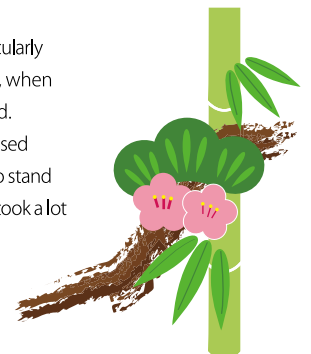
このような着物の着付けという日本文化の一端を体験できて、とても楽しい日を過ごすことが出来ました。

At the beginning of this year, I and my two KSU exchange friends, Sou-san and Jang-san, had the exciting opportunity to wear Japanese kimono. Perhaps it is due to the beautiful fabric, or the skill and patience required when dressing someone in it; Kimono has become an icon of Japanese culture.

Although kimono is very traditional, it still seems to be an important part of Japanese culture for many people. On festival days, particularly the Coming of Age Festival, you can see many young Japanese women looking beautiful and elegant whilst wearing kimono. So, when the Centre for International Affairs asked us if we would like to take part in a Kimono wearing experience, we were really interested.

When we arrived at the WHAHA studio in Tenjin, we chose which colour kimono we would like to wear and one by one the staff dressed us in kimono. When you wear kimono, it feels like you undergo a mini-transformation. The kimono is wrapped so tightly it causes you to stand up straight and the way you walk is very restricted so you have to take small steps. It was really fun to see my friends in kimono and we took a lot of pictures together.

Overall, it was a really great day and I'm so pleased I got to experience this part of Japanese culture.





交換留学生体験記(受入れ) Experience of Studying at KSU



友人と湯布院・金鱗湖にて(本人写真右)

ジャン ジョンア

張 貞雅さん

協定校: 東国大学校(韓国)

受入学部: 国際文化学部

受入期間: 平成25年4月～平成26年2月

私の日本生活記

私は平成25年の4月から平成26年2月まで交換留学生として勉強しました、韓国の東国大学校から来たジャンジョンアです。私は他国での生活が初めてだったので、日本に来る前は大きな不安と心配がたくさんありました。

しかし、国際交流センターのみなさんに空港まで迎えにきてもらったり、住むところまで荷物を運んでもらったり色々な気配りをしていただきその不安や心配はすぐになりました。

日本に来た初日は、ちょうど桜が満開だったので歓迎されている気がして嬉しかったです。特に、学内の桜は美しかったので毎日写真を撮っていた思い出があります。学期が始まった頃は、桜の散ることに気づいていないくらい友達と遊んでいました。あまり積極的ではない自分に先に近づいてくれた友達が多かったので、寂しくない1年を過ごすことができました。(皆ありがとう! 大好きです。)

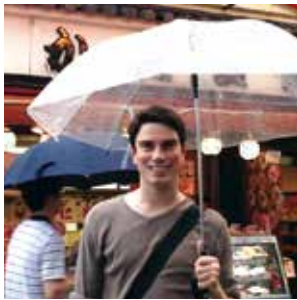
授業の仕組みは韓国と違ったところがあって面白かったです。その一つが「ゼミ」でした。韓国の大学にはゼミナールという授業がなかったので一体何を学ぶ授業だろうと気になって受けてみましたが、思いのほか本当に楽しかったです。普通の授業よりはずっと温かくて緩やかな雰囲気だったので楽しく勉強できました。特に一人で発表した経験は照れ屋である自分にとっては忘れられない思い出になっています。また、先生とみんなで一緒に撮ったプリクラは最高でした。

後期には学校側の配慮で陶芸を始めました。韓国の陶芸の作り方は違ったので、最初は大変でしたが色々な作品が作れて楽しみながら陶芸を学びました。陶芸で出会ったおばあさん、おじいさんはいつも優しく話しかけて可愛がってくれたので、陶芸を学ぶ時間はいつも幸せでした。

そして、日本の社会経験と文化経験のためアルバイトもしました。レストランでの仕事だったので少し大変でしたが、自分の生活で一番色々な経験ができた日々を過ごすことができました。相撲力士が作ったちゃんこ鍋が食べられたし、お会計の際の日本特有のジェスチャーも目にするのができたり、日本人の食文化も身につけることができました。やりがいのある仕事ができ嬉しかったです。

私は、日本に来てから性格が大きく変わりました。友達と親しくなるため自分が変わったところもありますが、それよりも日本人の優しさとマナーを学ぶことができたと思います。知らない人にも軽く挨拶するようになったし、「すみません」という単語をよく使うようになりました。礼儀正しい日本人の特性が学べてよかったと思います。

また、山笠、花火、日本語弁論大会、正月の初詣やおみくじ、おせちなど色々な思い出が作れました。自分一人では絶対作れなかったと思います。福岡という都市が好きだったので九州産業大学への留学を決めましたが、本当に九産大でよかったと思います。色々お世話になりました。皆さんにもらった親切や優しさを心に刻んでいきたいです。ありがとうございました!



トーマス アシュレイ カニングハム

Thomas Ashley Cunningham

協定校: Liverpool John Moores University (イギリス)

受入学部: 国際文化学部

受入期間: 平成23年8月～平成24年7月



小学校で英語を教える様子

先輩交換留学生からの声 Voice from a senior exchange student

～教師として帰ってきました!～

Q: 現在はどこでどういった仕事をしていますか?

A: 現在、京都府福知山にある小学校で英語の教師として働いています。

Q: What do you do now?

A: I'm currently working as an English teacher in Fukuchiyama, Kyoto.

Q: 現在の仕事を始めてどのくらいになりますか?

A: 2013年の8月から2014年の3月まで現在の仕事を続ける予定です。そして4月から別の会社に入り、京都市内にある小学校で英語の教師として働く予定です。

Q: How long have you been working for the current job?

A: Since August last year and up until then did March this year I will be working in Fukuchiyama. However, from April, I will enter a new company and whilst doing pretty much the same job I'll be living in Kyoto city.

Q: KSUでの留学は役に立っていますか?

A: 九産大の先生方のおかげで私の日本語能力はとても向上しました。様々なことを学ぶとともに、多くの人との出会いを通じて自分自身が大きな自信を持つことにつながりました。

Q: Did the experiences in KSU help you?

A: Thanks to all of the work of my great teachers at Kyusandai my Japanese has really improved. Also, I got to study many things and so I got to meet many people. As a result of this I have become a lot more confident.

Q: 将来のビジョンを教えてください。

A: 将来は国連で通訳として働きたいと考えています。もしくは大使館で外交官になりたいと考えています。

Q: What is the vision of your future.

A: In the future I would like to work as an interpreter for the United Nations. Either that or work in the embassy as a diplomat.

Q: 今の仕事の面白いこと、やりがいを教えてください。

A: どんなに疲れていても、教えている子供たちが笑顔で「ありがとう」と言ってくると、頑張ってた働きたくります!

Q: What is the interesting and challenging part of your work.

A: A good point about my job now, is that no matter how tired I am, when the children I teach smile and tell me "thank you" I feel like I want to carry on.



留学生会から新入生のみなさんへ Greetings from International Students Union

新入留学生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

皆さんは、故郷を離れ、それぞれの夢や希望を持って日本へ留学し、九州産業大学に入学したと思います。大学入学は、新たな自分の人生の第一歩とってください。

大学へ入学しても、最初はこうしたら良いかわからないかもしれません。

まずは日本語をしっかり勉強し、きちんと単位を取ってください。それは学生としての義務です。

そして、自分の趣味や好きなことのでいいので、何か一つ、とことん深く追求してみてください。

結果を問わず、目標を決めて充実した大学生活を送ってください。

私たち留学生会は皆さんが力を発揮できる舞台を準備しています。

大学では、日本語弁論大会、サッカー大会、学園祭での模擬店、異文化交流行事、日本文化研修などの様々なイベントがあります。

これらの行事は、各国の人々と交流したり、異文化に触れることができる良いチャンスです。また、平成25年度からは留学生のためのチューター制度が始まりました。こういった行事に積極的に参加したり、制度を最大限に活用したりして、皆さんの大学生活を有意義なものにしてください。また、他国から来た留学生との交流や、その文化に接することで自分の考えや自国文化の思想だけではなく、他の考え方や文化があるということがわかります。それは視野を広げ、自身の成長に繋がることと思います。

一生懸命頑張って、皆さんが人生の目標を実現できるよう、心より祈っております。



平成25年度 留学生会役員一同



海の中道海浜公園でのバーベキューパーティー



中国人留学生の学園祭模擬店出店



福岡県留学生会主催サッカー大会

母国料理紹介 ～ベトナム～



本学の学園祭で振る舞われたベトナムのフォーを紹介します。

学園祭では行列ができるほど大好評だったフォーは、鶏肉と牛肉から作ったスープに、お米で作られたツルツル食感の麺が入ったベトナム料理です。今回はご家庭でも簡単に作れるようアレンジしたレシピをご紹介します。



ベトナム人留学生の学園祭模擬店出店



牛肉のベトナム風フォー

カロリー 432kcal(1人分)

塩分 3.1g(1人分)

フォーはベトナム人にとって無くてならない食べ物で、朝・昼・晩の主食となるような料理です。しかしその作り方は難しく、簡単に誰でも作れるものではないので、多くの方はお店で食べています。味はあっさりとしているので、夏でも食べやすく、冬は体が温まるのでより人気があります。みなさんもぜひお試しください！

★作り方★

- ①にんにくは横に薄切りにして芯を取り除く。
- ②フライパンにサラダ油大さじ1と1/2を弱火で熱し、にんにくをきつね色になるまで炒めて取り出す。
- ③フォーは、たっぷりの熱湯で茹で、ざるに上げて水気をきる。
- ④トマトはへたを切り落とし、8等分のくし形に切る。
- ⑤レモンは4等分のくし形に切る。
- ⑥器にサニーレタスを1枚ずつ敷く。
- ⑦鍋に鶏ガラスープの素と、水6カップを入れて火にかけ、煮立ったら牛肉を入れて10秒ほど茹でる。
- ⑧牛肉を取り出し、アクを取り除く。
- ⑨フォー、ナンプラーを加え、再び煮立ったら火を止め、器に盛る。
- ⑩牛肉、トマトのをせ、にんにくを散らして、レモン、香菜、ミントの葉を添える。

ベトナム料理の牛肉のフォーを、手軽に薄切り肉で！

たっぷりの野菜とボリュームのある牛肉、旨味が詰まったスープで大満足！



留学生の四季 Quarterly Journal of International Students

平成25年度の行事

本学では14カ国・地域563人(平成25年5月1日現在)の留学生が、遠く故郷を離れ、それぞれ目標に向かって勉学に励んでいます。留学生同士、日本人学生、地域住民の方々との親睦を深めるため本学では、留学生会が組織されており、様々な交流活動を実施しています。

4月



4.25 留学生会定例総会

5月



5.14 在留生活指導会



5.14 新入留学生懇談会

6月



6.22 福岡工業大学主催4大学合同スポーツフェスティバル



5.28 新入留学生歓迎バスハイク(城島高原パーク)



10月



10.12 バーベキューパーティー(海の中道海浜公園)



11月



11.2~4 香椎祭

12月



12.8 日本文化研修(太宰府天満宮 他)



3月



3.19 留学生送別会



12.14 日本語弁論大会



12.14 日本語弁論大会懇親会

バーベキューパーティーに参加して



経済学部経済学科2年 ^{きよすぎ まさと} 清杉 昌登
出身高校: 大分東高校

バーベキューパーティーに参加させて頂き、留学生や日本人学生と一緒に肉を食べながら、楽しい時間を過ごすことができました。最初は緊張して留学生にあまり声をかけることができませんでしたが、途中から積極的に自らコミュニケーションをとるようにすると、留学生の方々も優しく接してくれました。こうして留学生と交流することによって自身の語学力を試すことができたり、交友の輪を広げたりする事ができました。このようなイベントがあれば、また参加したいと思っていますし、留学生との交流に興味がある方は、ぜひチューター制度に申し込んでみてください。



日本語弁論大会 Japanese Speech Contest

日頃の日本語学習の成果をスピーチに込めて!

平成25年12月14日(土)に「留学生による日本語弁論大会」が開催されました。今年で6回目を迎えた日本語弁論大会では、15人の留学生が発表を行いました。留学生各々が感じた自国と日本の違いや、留学生活から学んだ事、来日後の苦労話などのスピーチを聞くことができ、会場は笑いと感動に包まれ大いに盛り上がりました。

今回は数ある発表の中から、母国インドの料理“インドカレー”をテーマにスピーチし、奨励賞を受賞したガウタム・アナンドさんの発表を紹介します。



日本語弁論大会発表者



「インドのカレーを知りましょう」

ガウタム アナンド
Gautam Anand (インド)
経営学部国際経営学科1年

辛いカレー、甘いカレー、すっぱいカレー、色々な味のカレー。インドのカレーについて説明いたします。インド5,000年の長い歴史の中で、カレーは最も古いインド料理の一つです。16世紀から20世紀にかけて、インドにはムガル帝国やポルトガル、イギリスなど様々な国からの文化が伝わり、それはインドの食文化に大きな影響を与えました。そして色々な文化が混ざるにつれて、様々な味のカレーが生まれました。今日のインドには多くの種類のカレーがあります。

インド人はカレーを毎日朝ごはんから晩ごはんにかけて2~3回食べており、カレー味のパンやライスもよく食べているので、インド人の食事にカレーは無くしてはならないものとなっています。このようなインドのカレーですが、地域によって少しずつ味が違います。南の方は辛くて少しすっぱく、西の方はちょっと甘みのある辛さです。そして北と東の方では辛くて少し油っぽいです。また、マクドナルドやケンタッキーにもカレー味のメニューがあります。日本でもカレーはとても人気のある食べ物で、日本人は年間84回カレーを食べるという調査結果があります。しかし本場のインドカレーは日本人にとっては辛すぎるため、皆さんがそれを食べると、額に汗をかいて、口を開け“shi, shi, shi”と声を出してしまうと思います。そして時々、お腹を壊してしまうかもしれません。しかしそれでも全然飽きないと思います。なぜならインドのカレーはとても美味しいからです。インドのカレーはビタミンと栄養がたくさん入っています。例えばビタミンはA, B6, C, Kが入っています。その他に鉄分やカリウム、食物繊維などが入っています。インド人はとてもラッキーです。なぜならこうした栄養がいっぱい入ったカレーを毎日食べているからです。

私には二つ夢があります。一つは、日本とインドの架け橋になることです。そしてもう一つはインド料理のお店を開くことです。この二つの夢を実現するために、もっともっと頑張っていきたいと思います。

ありがとうございました。

最優秀賞(1位)



ジャン ショア
張 貞雅 (韓国)
国際文化学部交換留学生
「経験の大切さ」
「百聞は一験にしかず」

優秀賞(2位)



レイチエル ルイス ビグネル
Rachel Louise Bignell (イギリス)
国際文化学部交換留学生
「日本人の国内旅行」

奨励賞(3位)



ガウタム アナンド
Gautam Anand (インド)
経営学部国際経営学科1年
「インドのカレーを知りましょう」

オーディエンス賞



オウ ガン
王 岩 (中国)
商学部第一部観光産業学科3年
「バカナトリ」

オーディエンス賞



ソウ ヘキジョ
宋 璧如 (中国)
国際文化学部交換留学生
「日本一期一会」



リ ショウヘイ
李 小平 (中国)
国際文化学部国際文化学科1年
「日本の就職について」



ダン ミン タオ
Dang Minh Thao (ベトナム)
経営学部国際経営学科3年
「私は独りぼっちではない」



シン テンリン
沈 天胤 (中国)
国際文化学部国際文化学科2年
「変わる私、変わらない私」



マツノ リエ
松延 理恵 (ブラジル)
商学部第一部規費留学生
「私の国と日本の違い」



リュウ ニチショウ
劉 日晶 (中国)
経営学部国際経営学科3年
「愛について」



テイ ヘイショウ
鄭 丙秀 (中国)
経営学部国際経営学科1年
「行動する大切さ」



グイ シュンコウ
倪 駿浩 (中国)
国際文化学部国際文化学科1年
「この三年間」



キム ドヒョン
金 到賢 (韓国)
商学部第一部商学科1年
「86,400円の使い道」



コウ コウイ
黄 虹璋 (台湾)
商学部第一部観光産業学科2年
「日本の有名な人物(坂本龍馬)」



グリミル シュラチイ
古麗米熱 居来提 (中国)
国際文化学部臨床心理学科3年
「コミュニケーションスキル」



弁論大会終了後の懇親会

今年も弁論大会終了後に発表者と来場者の懇親会を開催しました。今回は4カ国の留学生にお国の自慢料理を作ってくださいました。ベトナムからはフォー、インドからはインドカレー、ブラジルからはブリガデイロというチョコレートのお菓子、そしてイギリスからはシェパーズ・パイというひき肉とじゃがいものパイを作ってください、来場者に振る舞いました。料理はあっという間になくなり、来場者からは“とても美味しかった”と大好評でした。



懇親会



スピーチ発表者と来場者



お国自慢料理を振る舞っている留学生

日本文化研修 Japanese Cultural Tour

平成25年12月8日(日)に、留学生日本文化研修を実施しました。今年はチューターに登録している日本人学生も参加し、24名の学生が参加しました。今回は博多の食と文化の博物館「ハクハク」、太宰府天満宮、そして九州国立博物館を訪れました。「ハクハク」では博多の味“明太子”の工場見学や、実際に試食をしました。太宰府天満宮では、「木うそ」と呼ばれる伝統工芸品の絵付け体験を行いました。また、九州国立博物館では、日本古来の国宝や重要文化財を目の当たりにし、非常に貴重な経験を得ることができました。

太宰府天満宮見学



博多の食と文化の博物館「ハクハク」にて



九州国立博物館見学



明太子工場見学

木うそ絵付け体験



明太子工場見学



平成25年度国際交流の歩み The Chronicle KSU International Exchange in 2013

平成25年度は以下の国際交流協定校等と学生・教職員の受入れ・派遣を行いました。

この学生交流・教員交流・学術交流を通して、友好の絆はますます深まりました。なお、平成25年度の主な国際交流の実績は、以下のとおりです。

受入れ



サイプレス大学学生教員受入

サイプレス大学 (アメリカ)

日 程:平成25年6月7日(金)~7月4日(木)

目 的:学生間交流、グループ討議、
日本文化研修

受入れ:学生7人・教員1人

チュンナン 忠南大学校経商大学 (韓国)

日 程:平成25年6月21日(金)~6月25日(火)

目 的:学生・教員交流のため

受入れ:学生28人・教員3人

ドンソ 東西大学校デザイン学部 (韓国)

日 程:平成25年7月8日(月)~7月11日(木)

目 的:学生・教員交流及び作品展示のため

受入れ:学生22人・教員2人

上海工程技術大学芸術設計学部 (中国)

日 程:平成25年7月17日(水)~7月24日(水)

目 的:学生・教員交流及び集中講義、
撮影実習受講のため

受入れ:学生10人・教員4人

ウルサン 蔚山大学校デザイン大学 (韓国)

日 程:平成25年7月26日(金)~8月3日(土)

目 的:学生・教員交流及び集中講義受講のため

受入れ:学生35人・教員1人

中国人民大学国際交流センター (中国)

日 程:平成25年7月30日(火)~7月31日(水)

目 的:教職員交流のため

受入れ:職員1人

派遣



ドンソ 蔚山大学校・蔚山大学校学生教員派遣

ドンソ 東西大学校デザイン学部・

ウルサン 蔚山大学校デザイン大学 (韓国)

日 程:平成25年8月19日(月)~8月24日(土)

目 的:学生・教員交流のため

受入れ:学生18人・教員3人

上海工程技術大学芸術設計学部 (中国)

日 程:平成25年8月26日(月)~8月29日(木)

目 的:教員交流のため

受入れ:教員2人

チュンナン 忠南大学校経商大学 (韓国)

日 程:平成25年11月1日(金)~11月4日(月)

目 的:学生間交流のため

受入れ:学生15人・教員4人

中国人民大学 (中国)

日 程:平成26年3月26日(水)~3月30日(日)

目的:学術・教員交流のため

派遣:教員1人

国際理解教育 in フィリピン-ごみ拾いから刺しゅうの仕事へ- 開催!

平成25年12月13日(金)、NPO法人ソルト・パヤタスを通じて、現地から来た二人の女性をお招きし、フィリピン、パヤタス地区の現状、ソーシャルビジネスのきっかけや今後の夢についてお話していただきました。ごみ山で生活収入を得ていたこと、刺繍事業を通じた収入向上を目指す取り組みについて、参加した学生は熱心に耳を傾けていました。併せて経営学部国際経営学科3年の前田 竜希さん(鹿児島県・伊集院高校出身)から同地区でのスタディーツアーの体験報告がありました。

また、フィリピン台風30号の被災状況を受け、本学学生、教職員から寄せられた被災者支援義援金をお渡ししました。この義援金は今回被災されたレイテ島を中心とする被災支援が行き渡っていない方々の、食糧・生活物資の配給を中心に使用させていただきました。

皆様の善意ありがとうございました。

※特定非営利活動法人ソルト・パヤタス

フィリピン・ケソン市パヤタス地区とその周辺の貧困地区で、人々が、望む未来を自らで描き、自らの力で実現していけるよう、子どもと女性を中心に教育と収入向上の支援を行う団体です。

平成22年度には福岡市市民国際貢献賞を受賞しています。



講演したダンダンさん(写真左)とロレッタさん(写真中央)



募金活動に参加した日本人学生と留学生のみなさん

今号の表紙

国際交流センター報のタイトルになっているJUNCTION (ジャンクション)とは、連絡点、接合点交差点の意味があることから、人と人との交流を大切にしたいとのコンセプトに基づき、命名されました。

今号の表紙は、シュトゥットガルト造形美術大学(ドイツ)に派遣留学した林田理沙さん(写真下段中央)が、現地の友人たちと一緒に撮影した写真です。また、下段右の写真は、同学生が撮影したプラハの街並の風景です。左の写真は、平成25年10月12日(土)に、九州産業大学留学生会主催による海の中道海浜公園で行われたバーベキューパーティーの様子です。

編集・デザイン/芸術研究科 造形表現専攻 福本 悠希

発行/九州産業大学国際交流センター

〒813-8503 福岡市東区松香台2-3-1

TEL(092)673-5588 FAX(092)673-5611

(注)掲載している職名及び学生の学年は平成25年度のものです。

(注)ページ上部に記載している国旗は、平成25年度に在籍した外国人留学生の国籍を表しています。